

蟻高  
120周年

# 母校と同窓会のあゆみ

## 学制改革による新制高校から男女共学まで

昭和23年  
1948年

- 長野県松本蟻ヶ崎高等学校、長野県松本真澄高等学校が設置される

その頃 1947年 日本国憲法 施行

昭和24年  
1949年

- 松本蟻ヶ崎高等学校と松本真澄高等学校が合併
- 生徒会発足

生徒代表がGHQ主催の講習会に出席、千葉軍制部のモデル生徒会や東京都下の高校生徒会を視察・見学し生徒会が発足しました  
その年に「会則作成」「クラブ編成」「新聞“ありがさき”第1号発行」「総合発表会」「生徒会誌“ありがさき”編集」「次年度役員選挙」が生徒主体で行われ、県下で有数の生徒会と評判を得ました

その頃 1949年  
湯川博士が日本初のノーベル賞受賞



生徒会発足  
初代生徒会委員と教師

- 「天の川」の校章決定  
「蟻」の校章を使用するも不評のため、新たにデザインを募集し生徒の投票で「天の川」に決定しました



左: 不評のため1年しか使われなかった「蟻」の校章  
右: 現在も使用「天の川」の校章



生徒会誌「ありがさき」創刊号

昭和25年  
1950年

- 創立50周年記念式典開催
- 蟻高、真澄高の同窓会が合併  
それまで同窓会長は校長が兼任していましたが、会則変更し同窓生が会長に就任しました

昭和26年  
1951年

- 校歌「雪の頂き」制定(昭和57年まで)
- 軟式庭球インターハイ団体優勝
- 薬師寺東塔修復のために寄付  
平成の東塔解体修理の際に蟻ヶ崎高校の名前が刻まれた瓦が2枚発見され、1枚は再び東塔の屋根に葺かれもう1枚は里帰りし生徒昇降口に展示されています

軟式庭球部  
インターハイ  
優勝旗とともに



30円の同窓会費を昭和32年  
入会金100円・年会費50円に値上げしました

「薬師寺東塔」の矢印の場所に蟻高の名前が刻まれた瓦が葺かれていました  
(同窓会報第61号より)



昭和36年  
1961年

- 創立60周年記念式典  
校舎全面改築を行いました
- 蟻ヶ崎会館が完成  
松本蟻ヶ崎学園が各種学校として認可  
昭和34年に同窓会が100坪の土地を購入し同窓会館を建設しました

完成した「蟻ヶ崎会館」  
(旧同窓会館)



その頃 1961年  
ソ連のガガーリン飛行士が人類初の有人宇宙旅行に成功

昭和40年  
1965年

- 財団法人蟻ヶ崎会設立

昭和46年  
1971年

- 創立70周年記念式典開催  
「70年史」「古稀」「同窓会名簿」を発行し、記念事業として「プール」「講堂兼体育館」「視聴覚室棟」等を建設しました

昭和50年  
1975年

- 男女共学制導入  
男子生徒96名が入学しました

男女共学初の入学式  
男子生徒の入学を祝い  
校門に鯉のぼりを掲揚  
(「母校!青春のアルバム」より)



その頃 1975年  
ベトナム戦争終結